



なっちゃんは、おくの
のしょうがくせい。

あるひのこと。てれび
で、ほたるのことが、に
ゆうすになっていた。

「ほたるは、どこにいる
のかな？」

ふと なっちゃんは、お
もった。

がっこうで、なかよしの
ももちゃんと りりち
やんにきいてみた。

「ちかくで、ほたるのい
るところしってる？」

「わからないわ」

と ふたり。

さんにんは、あたまを
くつつけて、かんがえた。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜ
なぜくんが、もりからあそびにきたよ。ど
こかな？



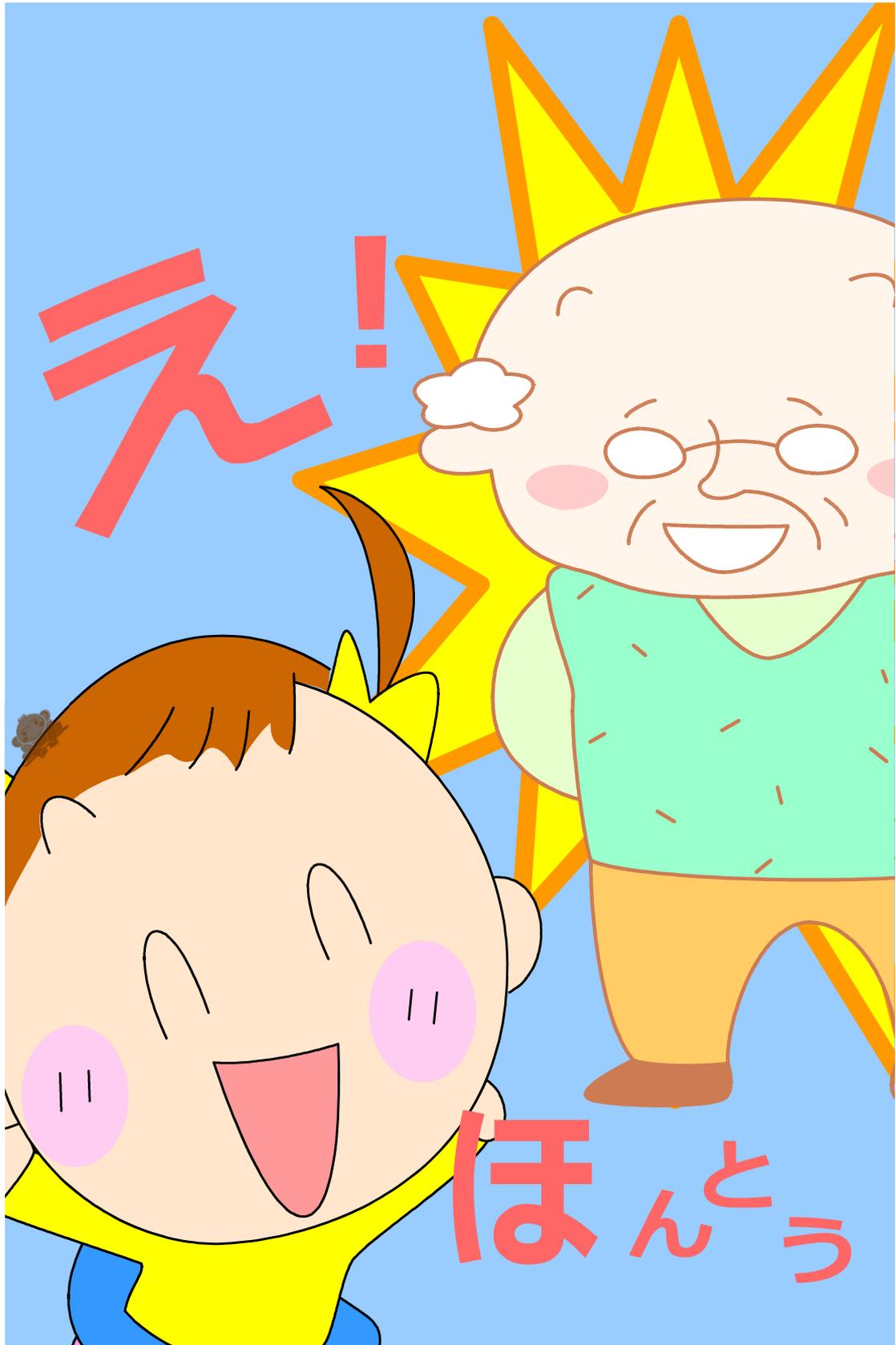
こまった なっちゃん。
ものしりなおじいちゃん
にきいてみた。

「ちかくで、ほたるのい
るところ しってる？」



「んー・・・」

「あ！　そうそう、おく
ばらで、たしか　みられ
ると　きいたことがある
なー」



せんせいに そのはなしをしたら、しらべてくれた。

「おくばらの たんぼでみられるそうだ。みんなでいってみるか」と せんせい。

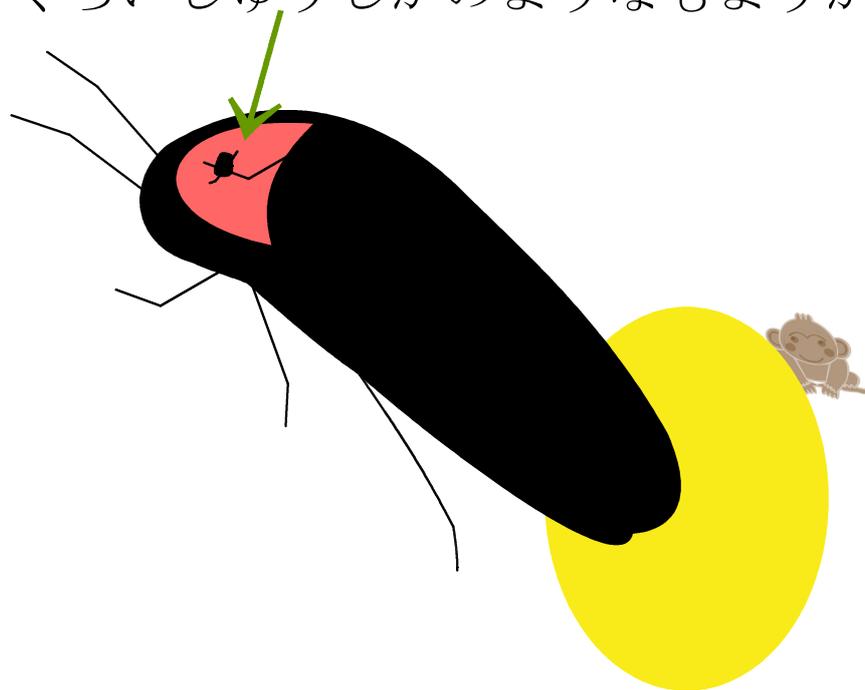
こうしてみんなで、ば
すにのっていくことにな
った。

びわくり!

なっちゃん、さっそく、
ほたるをしらべたよ。

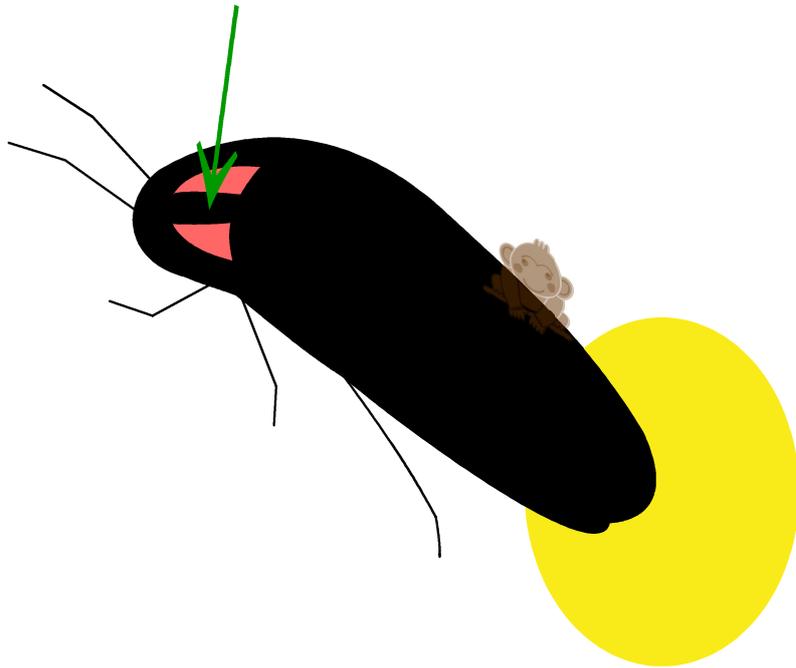
- ゲンジボタルは、
おおきなひかり。

とびかうじき 5がつ～7がつ
くろいじゅうじかのようなもようがるよ。



- ヘイケボタルは、
こきざみに てんめつ
するちいさなひかり。

とびかうじき 7がつ～8がつ
くろいふといいっぽんすじがあるよ。



しゅっぱつぜんじつ、
せんせいとおやくそく。

その1 ほたるをとったり、
きずつけないこと。

その2 たんぼを ふみ
あささないこと。

その3 おおきなおとを
たてたり、おおごえでさ
わがないこと。



さいごに、へびや あ
ぶ ぶよなどもいるかも
しれないので、ながそで、
ながずぼんを はいてく
ること。



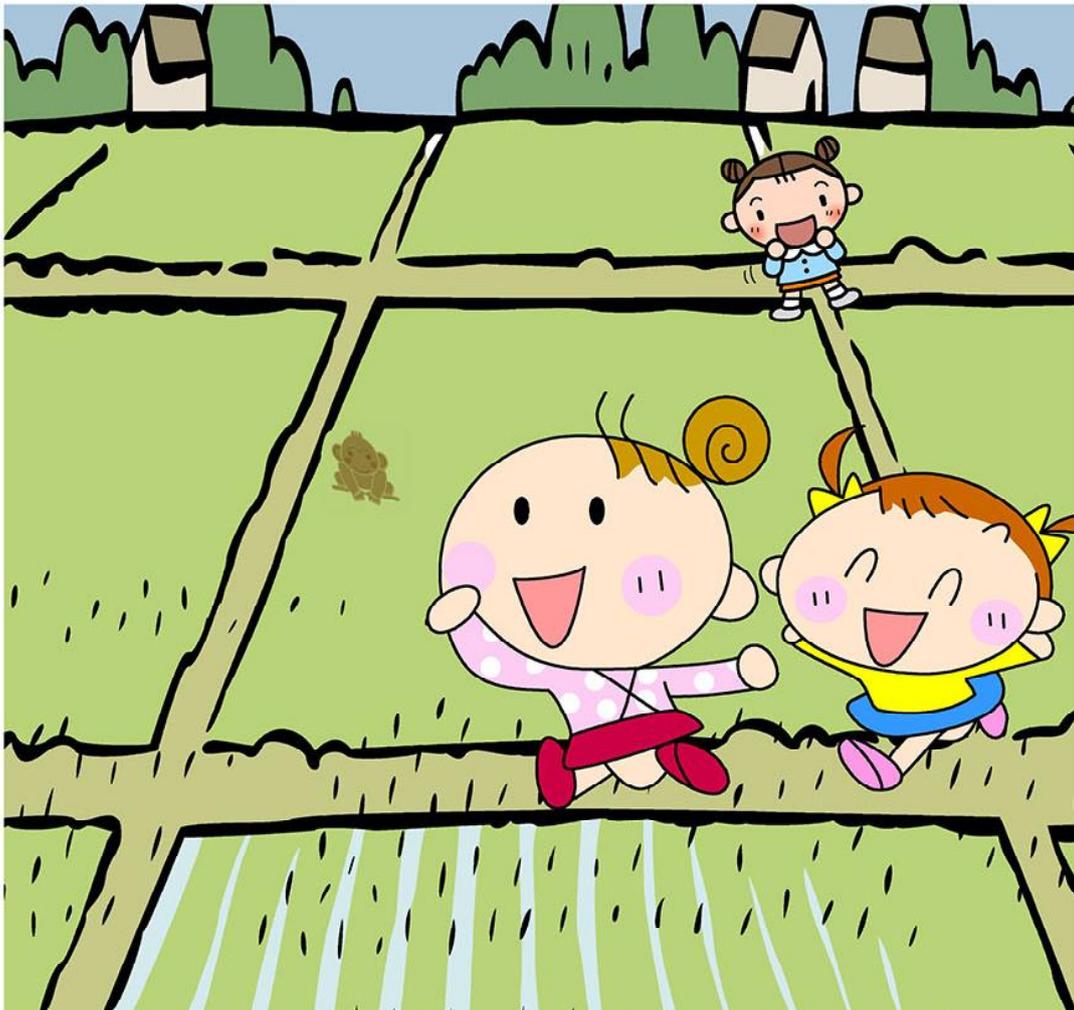
できれば、むしよけす
ふれーを掛けてくればい
いかな。

いよいよ きょうは、
ほたるをみに おくばら
に いくひ。しゅっぱつ！



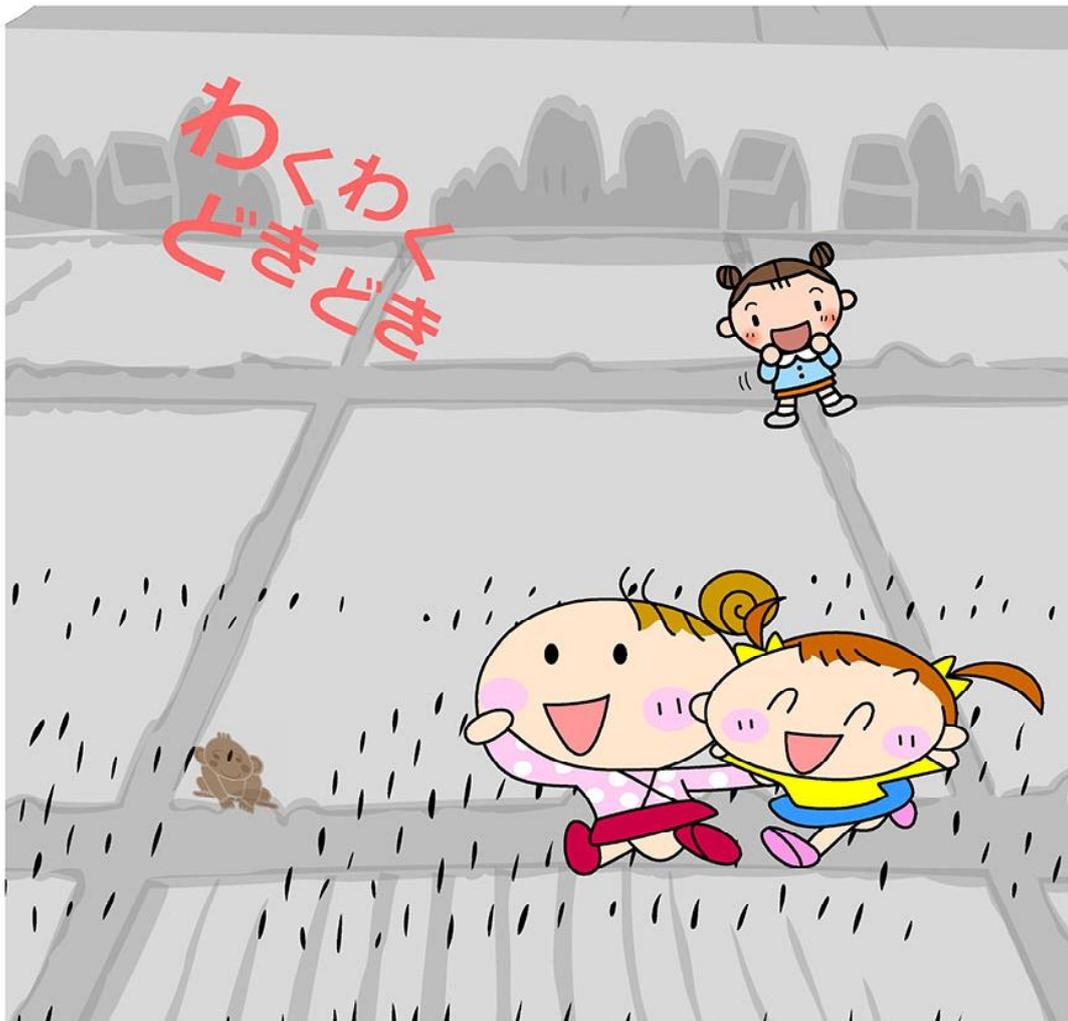
くらすのおともだちと
いっしょだ。

ばすをおりると、そこ
は、いちめん たんぼだ
った。

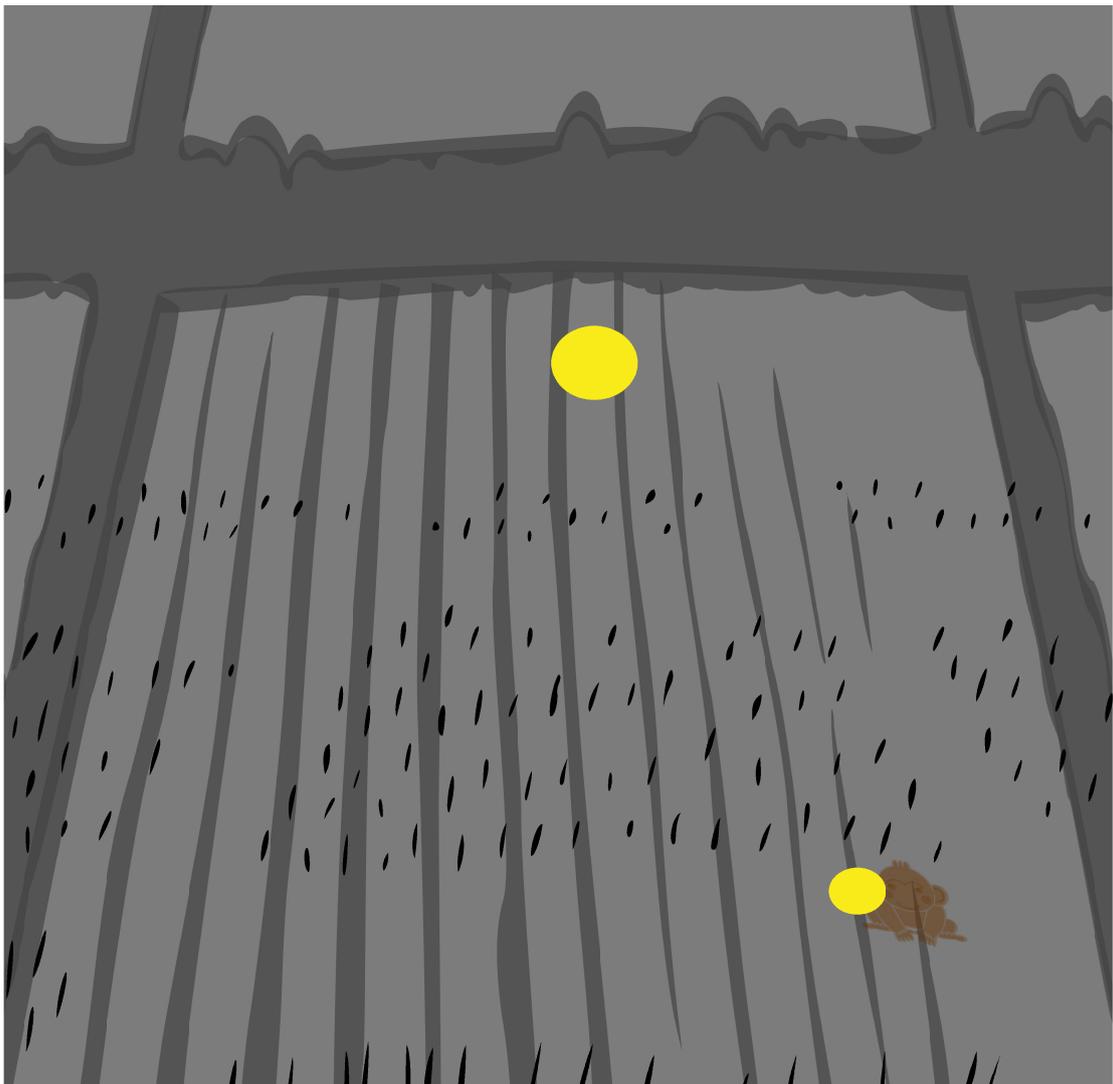


やがて、ひがくれはじめた。

いよいよだ。みれるぞー。みんな、たのしみ。



ぽつん ぽつん ひかり
りが、みえはじめた。



あ、ほたるだ！

りりちゃんが、
さけんだ。

あ！ほんとだ。

と ももちゃん。



わ、きれいな！

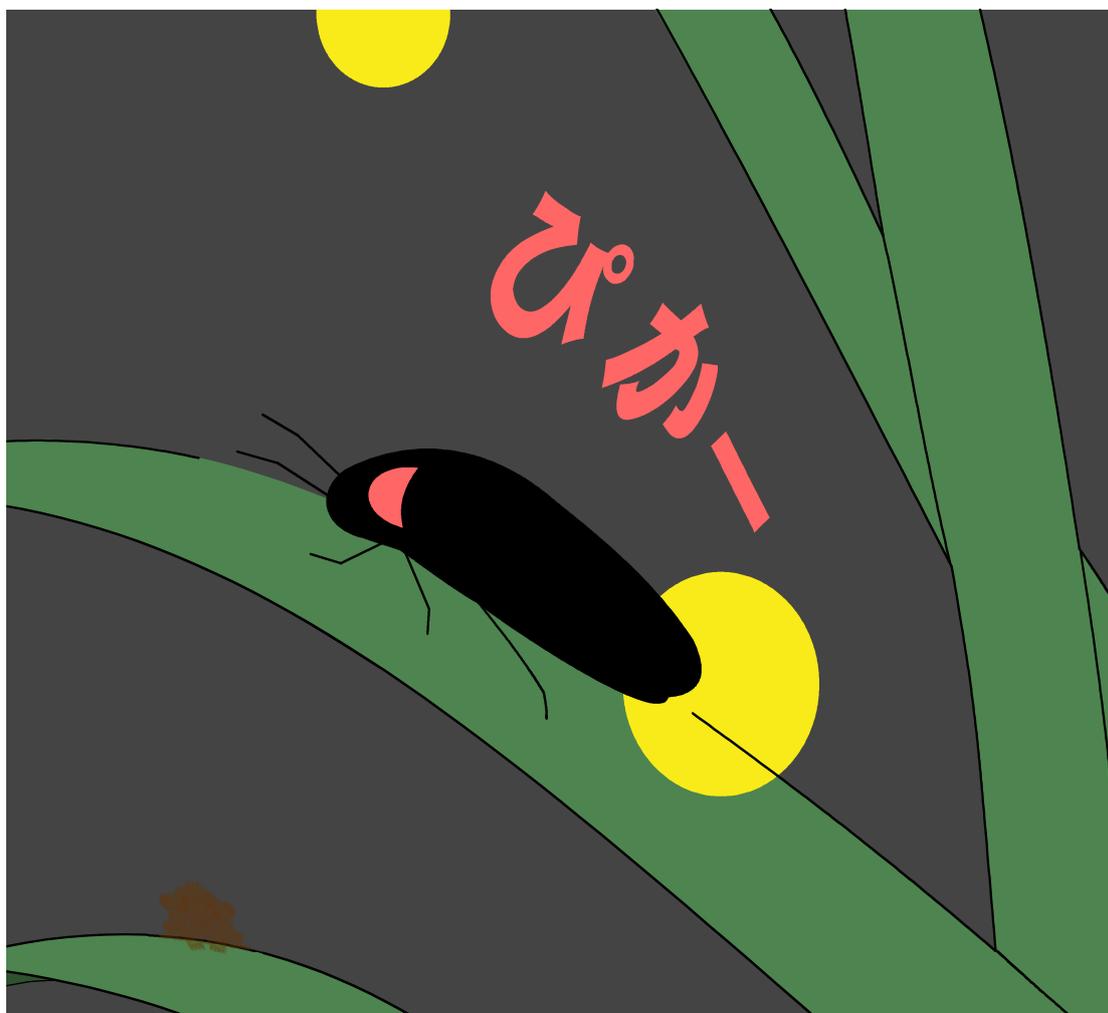
ほんとうにきれいな。

とおともだちも

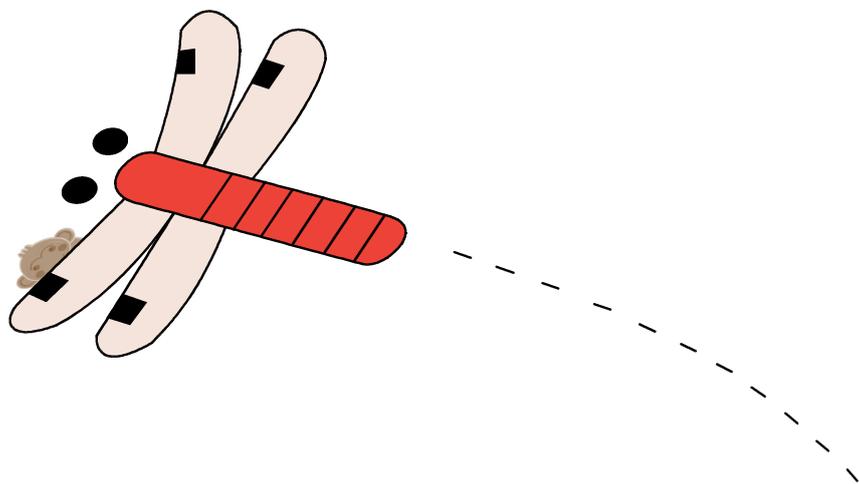
びっくりに！

でも、どうして、ひかるのかな？

なっちゃんは、ふしぎにもった。

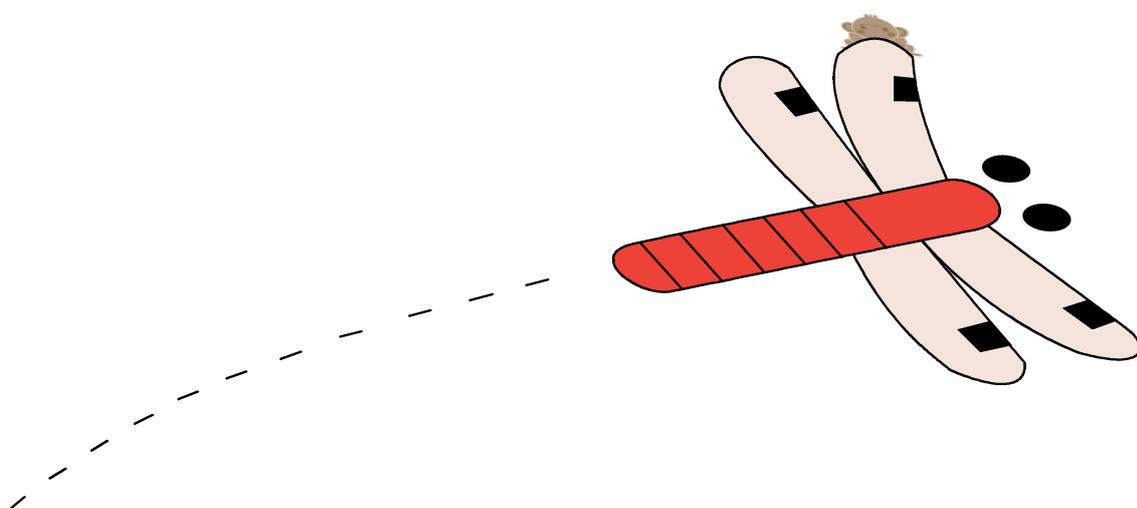


そのときだった。どこからとなく、とんぼが、あらわれて、おしえてくれた。



「くらいなかでも、けっこんあいてを みつけられるようにひかるんだよ」

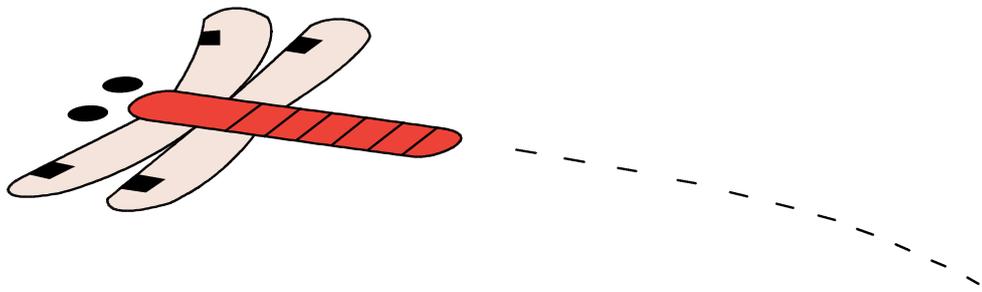
でも、あかるいときに
うごいたほが、はやくみ
つかるんじゃないの？



たしかに。しかし、あ
かるいときに うごく
と、いろんないきもに たべ
られちゃうんだよ。

そうか、そうだったの
か！

おとなになったほたる
は、どのくらい いきら
れるの？



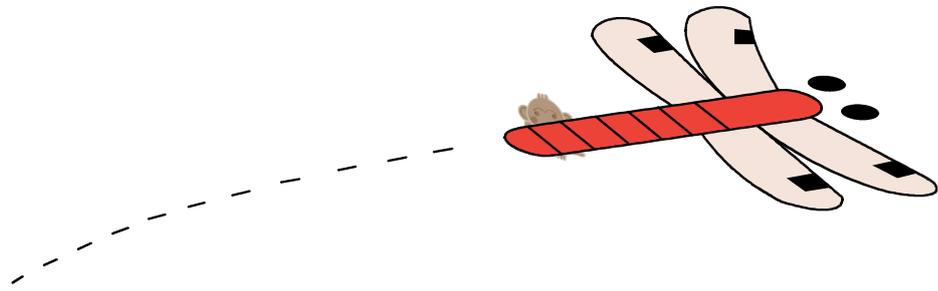
2しゅうかんぐらいだよ。

え！

そんなに みじかい
の！

びっくり！

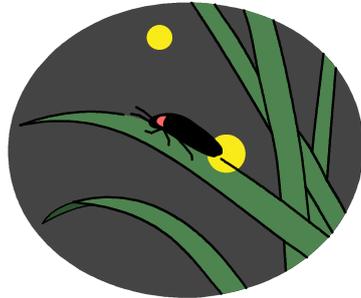
そのあいだに けっこ
んあいてをみつけるんだ。



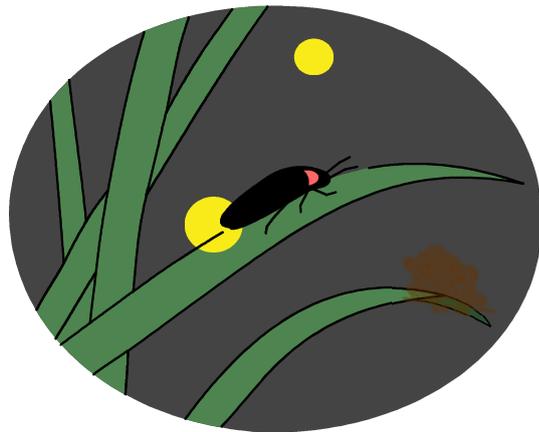
しかも、おとなのほたるは、ほとんどみずしかのまないんだよ。

うわあ、それじゃあのひかりはみをもやして、もえつきるまえにあいてをさがそうとするいのちのひかりだったんだ。

ひんた



ひかっているんだ



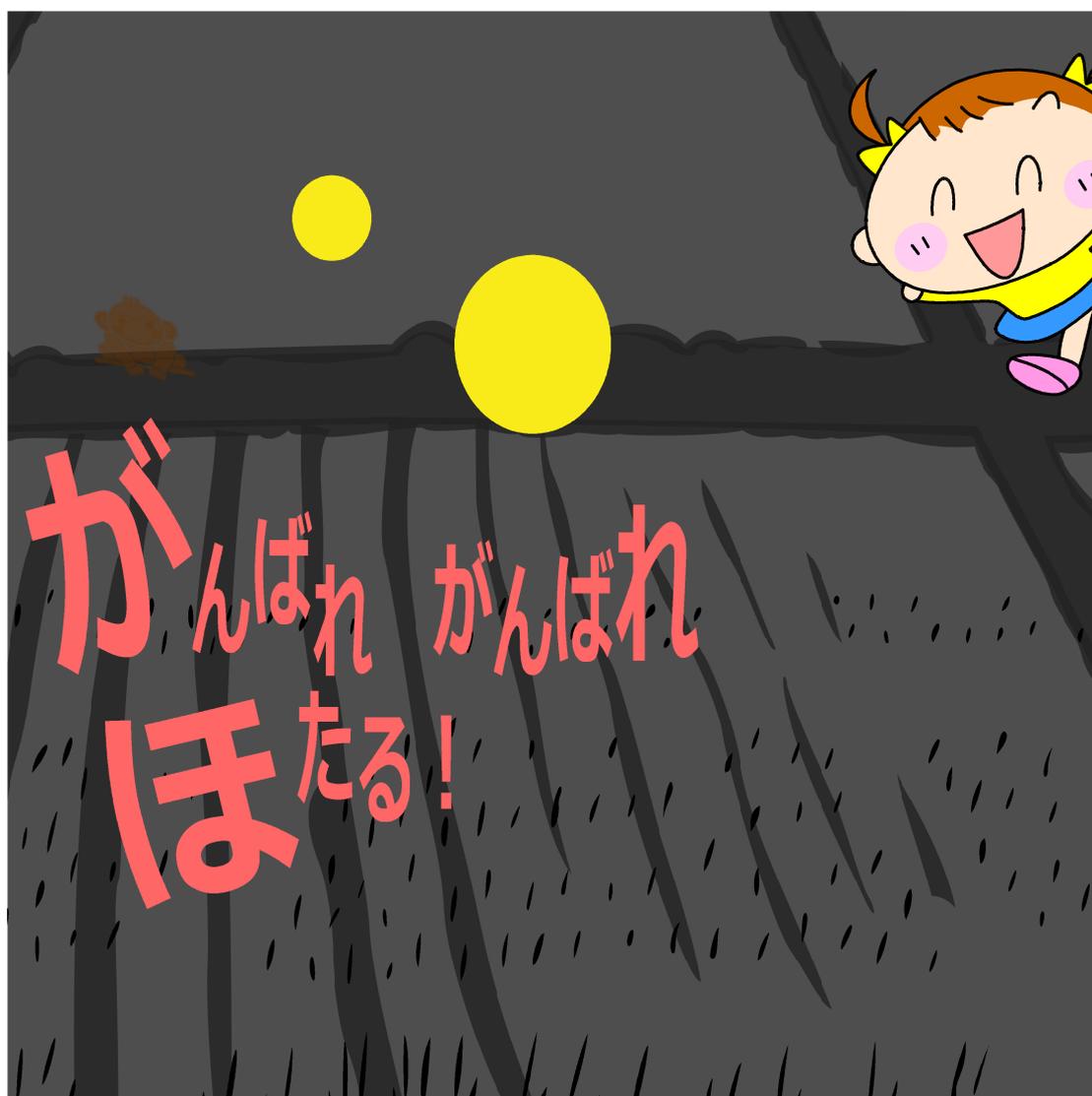
びくり!

「ひっしに いきょう
とじているんだ！すばら
しい」
と なっちゃん はしり
だして



「ひっしに いきよう
とじているんだ！すばら
しい」

と なっちゃん はしり
だして



すっかり ひがくれて、
まっくらになった。する
と たんぼいちめん
ほたるが、まいはじめた。



すばい
うらやま!

ほたるこい

かんはつしるな!

「わたしも がんばらな
くっちや」
と なっちゃん。そして、
おともだち・・・。



とってても
たのしかった

さて、こんどは、なに
をしらべようかな？

あれあれ？「すごーくたのしかった」と なぜなぜ
くん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら か
えっていった。

またね